



# グーグルAI「Gemini」プライバシー危機、 その裏に潜むNano Bananaの実態

22161412 高橋 和真

# Gemini


グーグルは8月26日、生成AIアプリ『Gemini』を無料でアップグレードした。

無料サービスに潜むリスクは昔から指摘されてきたが、今回も例外ではない。

製品に対価を払わないのなら、利用者自身や利用者のプライバシーが製品となるからだ。

そこで本稿では、新たな警告を出そう。

このGeminiのアップグレードは、Alphabet（アルファベット）のサンダー・ピチャイCEOが目標として掲げる5億人のユーザーにとって「プライバシーの悪夢」であり、「2025年で最も危険なサイバーセキュリティ危機」になり得るかもしれない。



## Nano Banana統合で強化された、 Geminiの画像編集機能

グーグルは、Gemini 2.5 Flash Image（コードネーム：Nano Banana。ナノ・バナナ）を公開しつつ、「皆がすでに熱狂しています」と猫撫で声で語った。「Geminiの画像編集が大幅に強化されました。私たちのAIツールは、世界で最高評価の画像編集モデルです」というわけだ。

グーグルはNano BananaをGeminiアプリに統合し、ユーザーは「完璧な写真を作るために、これまで以上のコントロールが可能です」としている。だがPoint Wildはこれに異議を唱え、ユーザーは今やリスクにさらされていると警告する。

## アップロード画像に含まれる生体情報とプライバシーリスク

Point Wildによれば、アップロードするすべての写真には「生体認証による『指紋』」が含まれている。これには「固有の顔面の配置、皮膚の質感、微かな表情、体のプロポーション、さらにはスマートフォンの持ち方や典型的な撮影角度といった行動パターン」までもが含まれているという。

研究者たちは、グーグルがすでにあなたのスマートフォンにデジタル指紋を付している世界の中で、あなたは今「画像メタデータに埋め込まれた精密なGPS座標、行動生体認証と習慣的特徴、ソーシャルネットワークのマッピング（写真に誰が写っているかとその関係性）、そして心理プロファイリングの示唆」を差し出しているのだと指摘する。

## 同意疲れとデータ処理の不透明性

これは「同意疲れ」(consent fatigue)だと、オンタリオ州の元プライバシーコミッショナーであるアン・カヴーキアンが警告する。あまりに頻繁な同意の繰り返しによって、ユーザーは影響を考えずに盲目的にクリックしてしまうのだ。

Synopsys (Black Duck部門) のティム・マッキーは私にこう語った。「問題は画像そのもののコントロールや、それに伴う同意要件だけではありません。処理がどこで行われるのか、そして入力画像がAIモデルの改良にどのように使われるのかという点が重要です。ソーシャルメディアは、一般ユーザーがデータ処理の所在を疑問視しないことを何度も証明してきました」。

## 画像が個人データと結び付けられると価値が急騰

Nano Bananaの興味深い点は、顔加工・セルフィー編集といったバイラルなAIアプリのような位置付けで大量のトラフィックを獲得していること、同時にGeminiアプリのアップグレード・新機能という体裁でGoogleのAIプラットフォームにそれらトラフィックが直接流れ込ませていることだ。折しも米App Storeといったアプリストアのランキングでは、ChatGPTなどの生成AIアプリをしのいで、第1位となった。

MIT Technology Reviewは、数億件に及ぶこれらの生体プロフィール1件あたりの価値は15~25ドル（約2200~約3600円。1ドル=147円換算）に達し得ると見積もる。Point Wildは、これが行動データと結びつけられると「1人当たり100ドル [約1万4700円] を超える水準に急騰します」と述べる。

# 未知の攻撃手法による「ゼロデイ」リスク

iCounterのジョン・ワッターズ (John Watters) は「これは氷山の一角に過ぎません」と警告し、「これらの機能が新たに独創的な攻撃手法に組み合わせられることが懸念されます。その結果として、未知の攻撃手法（ゼロデイTTP：戦術・技術・手順）が出現し、被害者が次々と生まれる事態になるでしょう」と述べている。

## Chromeへの統合とSNS拡散

Point Wildによれば、Nano Bananaは「世界のソーシャルメディアを席卷し、わずか数週間で世界中で2億枚以上の画像を生成しました」。LinkedIn（リンクトイン）で企業向けアバターを作るシリコンバレーのプロフェッショナルから、TikTok（ティックトック）で精巧なファンタジーの人格を作るユーザーに至るまで広がっており、そのプロセスは「危険なほど簡単」なのだ。

## 完全な機能を使うには、有料のGeminiプランが必要

ここでの代償は、あなたのデータが売られることだけではない。これらのAIアップグレードは無料で利用できるものの、完全な機能を使うには結局有料のGeminiプランが必要だ。

これは消え去ることはない。AIアップグレードや、無料で提供される同種の技術を使うときは、オプトインを行い遊び始める前に、少し立ち止まって慎重に判断すべきだ。いったんデータが取得・保存されれば、その後どうなるのかは必ずしも明確ではない。



# コメント

**松本さん**

無償で使えるアプリやサービスには必ず別のマネタイズ手段があります

無料アプリの場合は、利用者の個人情報などがその対価になります

無料で使いたい、でも対価は出さないは通じません

ただ、情報を出すことで即座に危機が発生するとも言えません

どういう情報をどこまで出すのかを確認することも必要です



# 感想



- 無料でこんなにも便利なものがあるとは、裏があるであろうと思ってはいましたが、思っていたよりも商売になってしまっていることがわかりました。
- 無料より安いものはないというように、やはりきちんと注意しながらの使用が必要になります